

# 2021年度 佐野ケーブルテレビ株式会社 放送番組審議会

2022年3月8日作成

## 1. 概要

新型コロナウイルス感染拡大防止のため書類による審議となりました。2月上旬に各委員に審議資料を送付し、2月18日までに全ての委員から回答を頂き、3月8日に議事録を作成しました。

## 2. 放送番組審議会委員（敬称略）

矢島 堅司 委員（佐野商工会議所最高顧問）  
野城 良弘 委員（元 佐野市副市長）  
國分 三郎 委員（佐野日本大学短期大学名誉教授）  
永倉 文子 委員（NPO 法人 CoCoA 理事長）  
関塚 保雄 委員（元 葛生ライオンズクラブ会長）

## 3. 報告事項

【加入状況と今後の取り組みに関する報告】

【自主制作チャンネル】

- （1）「佐野ちゃんねる」の番組編成に関する報告
- （2）今後の取り組みに関する報告

## 4. 番組に対してのご意見・ご感想

（1）さのニュース 2021年10月7日号（令和元年東日本台風(台風19号)被害から2年）〔20分〕

質問・回答

（委員） 今回の放送にはないが、秋山川改修工事の進捗状況等、現在の復旧状況を伝えるコーナーが始まった。被災地域と言っても企業には情報が入らないので貴重。台風19号の被災記録は将来のために、そして佐野市の防災を考える上でも重要である。必要な時に検証できるよう、佐野ケーブルテレビとしてまとめておく必要があると思う。例えば被災の状況、復興復旧事業の計画、進捗、完成、将来展望について、地域や企業からの取材内容をまとめ、SCTV アーカイブとして管理してはどうか。

（SCTV） 「秋山川工事だより」は県安足土木事務所の協力を得て始まったコーナー。同コーナーの内容充実を図る。被災した企業や住民の状況については、これまでも取り上げてきたが、取材できていない内容も多く残っている。撮影した映像は、全て資料として保管している。来年度からは、「さのニュース」をリニューアルし新たに特集コーナーを設ける。このコーナーでは取材できていない企業やトピックも取り上げる予定。

- (委員) 個別的復旧企業の現況だけではなく、佐野市内で被害を受けた企業の全体的な状況や、課題、問題の考察も交えた方が良かったのではないだろうか。
- (SCTV) 今後の番組作りに活かす。企業の全体的な状況等については、佐野市や佐野商工会議所にも情報提供の協力を仰ぎながら進めていきたい。

## (2) かずさんぽ (2021年5月26日放送) (10分)

### 質問・回答

- (委員) 地元の人との触れ合いから生まれる人情味や楽しみ、お店の紹介、町会の名所や歴史等テーマが多く、どれも中途半端になりがちな気がした。どこに中心テーマを置くか決めておく必要性を感じる。たとえば、地元の人との触れ合いから生まれる人情味や楽しみを中心に制作しようとするなら、ケーキ店ではもっとオーナーを深掘りする。神社に向かうのも「かずさん」一人ではなく地元の人と一緒に歩きながら、神社にまつわる地元情報を地元の人から引き出す事で、番組の筋が通る気がする。何か一本筋が通っていることで視聴者の満足度を高め、番組の質も向上できるのではないか。
- (SCTV) 「広く町会を巡り多くの発見を伝える」ことも番組のコンセプトの一つとしている。アポなしでの訪問という事もあり、一つひとつを深く掘り下げず、テーマが多くなりがちなのは否めない。今後はできる限り住民からより深く話を聞けるよう取り組む。また、掘り下げたい話題については、別番組で取り上げるなど工夫する。
- (委員) だんだん地域の人達に浸透してきて声をかけてもらえる機会が増えたので、番組の最後に次に訪問する場所を予告してもよいのではないか。もし可能であれば、訪問日を予告して、どれくらいの人に伝わっているか試してみるのも良いのではないだろうか。
- (SCTV) 放送時期に合わせて旬な場所を尋ね、タイムリーな話題を盛り込むようにしている。そのため、一ヶ月前に次回告知するのは難しい点もあるが、今後できる限り取り組む。
- (委員) 出演者の人柄もあって、番組全体がアットホームで親しみ易い。全体として町会の紹介はされていたが、町名の由来も取り上げたら面白いのではないか。また、特定の町会を紹介する場合は、まず佐野市の地図で位置を示した方が良いのではないか。
- (SCTV) 町名の由来については今後取り入れる。地図に関しては、現在、番組冒頭に佐野市の地図でおおまかな町会の位置を示しているが、よりわかりやすく表記できるよう検討する。

### (3) 空中散歩「堀米町」(2021年12月16日放送)〔5分〕

#### 質問・回答

- (委員) テロップを入れて頂いたので大変わかりやすくなった。欲を言うならば、画面が変わると、どの地点の映像か分からずに数分が経過した。テロップのある地点を先に見せ、視聴者に場所を認識させてから、周辺を見せる方法はどうか。
- (委員) 佐野市の地図で該当する町会の位置を示した方が良いのではないか。
- (委員) 主要な建物にテロップが入るようになったが、もう少し多くテロップがあると分かりやすいと思う。
- (SCTV) 現在、主要な公共施設にはテロップを入れている。今後はよりわかりやすさを追求し、画面切り替え時の見せ方や必要なテロップを再度検討する。
- (委員) 川をテーマにした空中散歩をやってみてはどうか。秋山川や旗川、三杉川、菊沢川、才川など佐野市には多くの河川がある。そこに織りなす人、植物、動物等の営みなど、地上からだけだと分からないことが多いので、高いところからの映像は面白いと思う。
- (SCTV) 河川の撮影については都度飛行申請が必要だが、今後実現できるよう取り組んでいく。

### 5. 番組全体に関するご意見

- (委員) 空撮が入ったので新鮮だった。空撮を有効に活用することで映像演出のさらなる可能性を感じた。
- (SCTV) 必要に応じて様々な番組でドローンを活用している。今後も有効活用できるよう、個々の技能を高めたい。
- (委員) 選挙開票速報番組では、機動性、速報性に佐野ケーブルテレビの進化を改めて認識した。地元情報は頼りにしている。今回の選挙速報は良かったと思う。技術的発達スピードが早く、表現方法に正解はないので大変だと思うが、今後も更に研究を進め番組の向上に努めていただければ。
- (SCTV) 今後も正確性と速報性を意識し、スタッフ一丸となって取り組む。
- (委員) 局の機能が高まってきているを感じる。「さのニュース」の最後に、今日の天気を付けられないか。
- (SCTV) 現状のシステムでは厳しいが、今後検討する。
- (委員) 「ハッピー」はサービス業にとらわれず、いろいろな分野の方たちに出演していただく企画がとても良いと思う。〇〇小学校〇年〇組や〇〇高校〇〇部など、学校の企画などを取り入れても面白いのではないのでしょうか。
- (SCTV) 現状、部活動をはじめ学校での活動は新型コロナの影響で不安定なため、状況が落ち着いたら前向きに検討する。今後も幅広い職種や団体を紹介できるよう取り組む。

(委員) 懐かしい曲を流しながら市内をドライブする企画は、運転ができない年配の方たちにとっては嬉しいと思う。もし可能であれば、春夏秋冬その時季にお勧めの場所(桜の名所・紅葉スポット等)へドライブする企画などはどうか。また、佐野市だけでなく、近場のお勧めスポットをドライブするのも良いかもしれない。ドライブしたくてもできない視聴者(高齢者)の意見を取り入れることも重要。挿入する曲も、「昭和50年代に流行った曲、卒業シーズンにききたい曲、クリスマスにききたい曲」等絞り込んでも楽しい。

(SCTV) 市外については今後前向きに検討したい。現在は不定期での放送だが、季節に合わせた放送も取り入れられるよう検討する。

(委員) 桜、新緑、紅葉、雪景色など佐野市の自然を感じる事が出来る場所を撮影して放映する企画などはどうか。(佐野の雰囲気にあった曲も挿入する)

(SCTV) 「さのニュース」で四季折々の市内の様子をお届けしている。長尺については今後検討する。

(委員) 「猫の目」は斬新なアングルで地面を這うような目線が新しく、興味深い番組だと思う。一度偶然視聴したが、どの時間帯に放送されているのかが分からない。

(SCTV) 現状、ニュース枠と番組枠の都合によりエンディング映像としての不定期放送がほとんど。「さのニュース」をリニューアルのタイミングで定期放送を検討する。

(委員) 今週の、あるいは直近2週間位の市内のイベントや講座一覧が見られると助かる。また、佐野は他市よりも美術館が多い。市内での講座一覧と美術館展示情報も合わせ文字情報だけでいいのでいつも見られると良い。

(SCTV) コロナ禍という事もあり、イベントの事前告知等は控えている。状況が落ち着いたらデータ放送や「さのニュース」内での告知を検討する。

以上